

第72回 蒲郡市新型コロナウイルス感染症対策本部 議事録<概要>

日時	令和3年4月12日（月） 9時から10時 （Zoom会議）
出席者	新型コロナウイルス感染症対策本部員
内容	<p><蒲郡市警戒レベル2継続中（3月29日～）> <愛知県まん延防止等重点措置（4月8日～）></p> <p>（1）新型コロナウイルス感染症対策本部設置要綱の改正について 【危機管理監】 4月の組織見直しにより、危機管理課が新設された。 危機管理課では、これまでの防災業務に加えて、新型コロナウイルス感染症対策などを含めた危機管理全般について、総合調整の役割を担い、今後、この対策本部会議の事務局を務める。 また、蒲郡市新型コロナウイルス感染症対策本部設置要綱の第4条を改正し、健康推進課は、事務局を補佐する役割として位置付ける。</p> <p>（2）新型コロナウイルス感染症の愛知県及び蒲郡市の感染状況について 【健康推進監】 本市で大きな波が令和2年11月と令和3年1月にあった。11月11日と27日、警戒レベル引き上げ後の感染者の増え方が、全国や県に比べて低いのが特徴的。 4月1日以降の愛知県内における新規感染者数の推移は、名古屋市、尾張、三河のいずれも徐々に増加。蒲郡市は、4月に入り3名の感染が確認されている。死亡者は県内で19名、累計では602名。 現在、全国的に変異株が増えており、豊川保健所所管内での変異株の検査は、豊川保健所に持ち込まれた検体を藤田医科大学でPCR検査を実施し、疑いがある検体は県の衛生研究所に送り検査を行う。陽性になると豊川保健所に連絡があり、さらに県の衛生研究所から国立衛生研究所で型の検査をする流れと聞いている。 豊川保健所に連絡が来るのは少しタイムラグがある。3月25日から4月1日の1週間では、豊川保健所管内で5例見つかっている。豊川保健所としても、変異株は今後増える見通しとのこと。</p> <p>○警戒レベルを判断するための指標について 【事務局】 本市だけでなく、近隣市町、県内においても3月29日以降、各指標は増加傾向にある。東三河南部及び愛知県の一部が減少傾向と示されているが、これは3月下旬に東三河でクラスターが発生したためであり、全般としては増加傾向にあると認識していただきたい。</p>

(3) 今後の対策について

【事務局】

警戒レベルを3から2に引き下げたことから、ガイドラインではレベル2で吹奏楽・カラオケ合唱等はしっかり対策をとれば可、レベル1で飲食を伴う活動もしっかり対策すれば可、と記述内容を変更している。

施設ごとの対応についても、記述内容を変更している。

【健康推進監】

中山先生からいただいた警戒レベルについてのメールについて。

(以下、中山先生からのメール)

市内でも陽性者の報告が出るようになりました。豊川保健所で検査をしている新型コロナウイルスの中にも変異ウイルスが報告されています。変異ウイルスは感染力が強く、重症になりやすく、特に比較的若い人を重症化することと、基礎疾患のない人も重症になることが分かっているので、この変異ウイルスをできる限り広めないことが大切です。

蒲郡市は先週新規陽性者3名の報告であり、蒲郡市の警戒レベルは、蒲郡市新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン判断基準に沿って、レベル3にするのが妥当と考えます。市民の方には、屋外で密にならない活動をしていただくなどして、運動不足にならないようご指導ください。

今後感染者が増えれば、そこに新たな変異ウイルスが生まれる可能性があります。ワクチンの接種率が上がるまでは、油断ができない状況が続きます。引き続き、三密を避ける感染リスクの高い行動はできる限り避けるようお願いいたします。

(メールは以上)

【危機管理監】

中山先生から警戒レベルの引き上げについて提案をいただいた。市内の感染状況、指標との関係を見ると、直近1週間で3人であり、ガイドラインとしてはレベルの引き上げを判断する状況となっている。引き上げにあたっては、当然規制を強化していくことになるので、一定の周知と期間が必要と思われるが、これについてはどうか。

【教育部長】

レベル3に引き上げるのであれば、今後各施設対応していくので、今日すぐではなく、2日間ほど周知期間をいただきたい。

【危機管理監】

国では、まん延防止の関係等の措置が各地区で実施されてきている状況。愛知県では感染者も増加傾向にある。また、変異株の問題等もある中で、県としてはイベント等の関係の実施期間、4月11日までの制限を21日まで延期する発表がされているが、それ以上のレベルの引き上げは現状で示されていない。

その辺りを踏まえ、難しい判断を求められると思うが、事務局の案としては、この1週間の状況をレベル2の状態で見極め、例えば来週の月曜日の部長会終了後に対策本部を開き、そこでレベル3への引き上げの必要性について判断したいと考えている。

【健康福祉部長】

市の施設は最後まで踏ん張って、市民の居場所を確保すべきなのか、それとも率先して閉めて行動を抑制するための模範となるべきなのか。公民館や寿楽荘、その他の会議施設等については、最後まで安全対策を市ができるだけやって、そこで踏ん張って、閉めるべきではないかと思う。行動を抑えるには市の施設を閉めれば良いとは思いますが、そうすれば民間等の施設に流れてしまう。

【教育部長】

教育委員会の施設は主に市民会館や体育センターなどで、生活する上で必要なものかという点、どちらかといえば文教や生涯学習といった、生活を豊かにするための施設だと思う。(健康福祉部の)福祉施設における、風呂に入り体を健康的に保つための役割とは、若干違うのではないか。市民の生活を守る、最後の砦とする部分の施設と、市民生活をより豊かにする部分は、少し姿勢が違うところがあっても良いのではないか。

市の施設として統一性がないのは、市民から見て判断に迷う部分も出てくると思うので、教育委員会の施設は、率先して姿勢を示すという立場で今までやってきた。

【健康推進監】

蒲郡市は厳しいということを感じていると思うが、本市としては、感染対策をしっかりと取り、市民の皆様の命を守るというところを最重要課題として進めてきた。

公民館や施設を閉めたから他に流れるというより、例えば感染対策がしっかりとれるような屋外での運動を勧めるとか、市民の皆様へ周知をしっかりとした上での感染対策をすべきではないか。

【危機管理監】

レベルの引き上げについては、施設所管課は予約している利用者への周知等もあるが、数日で引き上げの対応可能という判断でよろしいか。

【健康福祉部長】

予約状況次第だが、おそらく数日いただければ、対応できると思う。

【教育部長】

教育委員会だと、博物館と公民館が本日(月曜日)休館日。明日は市民会館等が休みになるので、最短でも周知期間を含める水曜日以降の対応なら可能だと思う。

【危機管理監】

今日の会議で引き上げを判断して水曜日から対応するのか、または1週間程度の状況を見た上で来週月曜日に判断なのか、この2案になってくる。

【副市長】

東京や大阪の状況を見て、愛知県にも変異株が結構入ってきていることから判断すると、早めに手を打った方が良いと思う。来週の月曜日からレベルを上げるという考え方はどうか。

【市長】

基準日は非常に大事になってくると思う。

公共施設を閉めること自体が、そのまま感染を抑えるということには繋がらない可能性もあるので、まだまだ警戒が必要ということを示す

かり周知をする。

公共施設は、もう 1 週間この状況を見て、来週月曜日の判断でレベル 3 にするという、危機管理監が示した案でいきたいと判断している。

【危機管理監】

この 1 週間の中で十分検討いただき、原則レベル 3 への引き上げを来週の月曜日に判断するという前提のもと、今一度ガイドライン等見直しをしていただきたい。

また、レベル 3 の対応で、何らかの変更や強化が必要な場合については、各部長から明日火曜日の午前中までにご報告をいただき、警戒レベル 3 に向けての準備を整える 1 週間とし、月曜日の対策本部で判断する。

このような方向で調整をしたいと考えているが、よろしいか。

(4) 各部から

○新型コロナウイルスワクチン接種体制について

【健康推進監】

接種体制を説明

○プレミアム付き商品券について

【産業振興部長】

コロナ対応として取り扱ったプレミアム付き商品券の集計が 3 月 31 日でまとまったので、報告する。

プレミアム付き商品券は、全体で 98.57%の利用があった。ホテル旅館利用券は 74.72%だった。ホテル旅館については 3 月議会で、6 割を超える程度と答弁したが、最終的には駆け込みでかなり利用があり、70%を超えた。

(5) その他

【市長】

蒲郡市はこれまで厳しい対応をしてきた。これを緩めるつもりはない。厳しい状況でこれまで保ってきた雰囲気を壊さないように、今回レベル 2 ではあるものの、やはりレベル 3 に近い状況だと、そういう危機感を各施設にも伝えていただきたい。変異株の情報もあり、予断を許さない状況が続いているので、各施設のあり方をしっかり見極めていただきたい。

<対策本部での決定事項>

- ・今週は警戒レベル 3 に向けての準備を整える 1 週間とし、19 日（月）の対策本部で引き上げを判断する